

令和4年度「美術I」シラバス

教科（科目）	単位数	指導学年	教科書名	副教材等
芸術（美術I）	2	第2・3学年	高校生の美術1	

学習の到達目標 ・美術Iでは、中学校美術の学習で身に付けた創造的な表現と鑑賞の力を更に伸ばすことを目的とする。
 ・自分の描いたイメージを表現できる喜びを感じられるようにする。想像力や発想力、構想力をのばし、創造的に表現する。
 ・作品のよさ、作者の心情や、現代美術や伝統的な美術及び地域的美術の特質などを感じ取り、感性や美術を愛好する心を高める。

学期	単元・題材	指導内容・学習内容
前期	カッターナイフの使い方 ●鉛筆削り デッサン ●球を描く	カッターナイフを分解して構造を知る。 カッターの安全な使い方を知る。 鉛筆デッサン
	色の基礎 ●色相環作り ●色料の三原色	色を整理分類し系統立て、三原色と白を使って様々な色を実際に作ってみる
	ペーパークラフト ●からくりボックス作り	カム、クランク、ギヤ等の簡単な仕組みを理解し、完成品がきちんと動くように丁寧に作る。
	携帯ストラップ作り	新素材（UVレジン）を使って自分で使えるアクセサリーを作る
後期	コラージュ	写真などを切り貼りして絵を完成させる 色々な材料、雑誌などを持ち寄って制作する
	平面構成 ●ポスターを描こう	着彩による平面構成
	アニメーション作り	グループで、写真によるコマ撮りのアニメーションを作る。
	ステンシル(サトプラスト)	型紙(孔版)を使ったデザインの制作。
	ペーパーウェイト作り	鑄造 金属を溶かして型に流し込む。

評価の観点

- ・美術を愛好し、美術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わおうとする。
 - ・感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、自分なりに表現しようと工夫している。
 - ・創造的な美術表現をするために必要な技術を身に付けている。美術を幅広くとらえ理解し、その意味を自分なりに考えながら、鑑賞ができる。
- ※以上の4つの観点を規準とし、提出してもらおうプリントや作品、授業に取り組む姿勢をもとに評価する。

評価において重視する点

- ・基本的にはものをよく視たり、よく聴いたりする能力について評価し、伸ばしていきたいと考えます。ものごとをひとつの方向からではなく、さまざまな視点からみることによって豊かな心や思いやりを身に付けるきっかけとしてほしい。
- ・ものや作品を大事にすることを通して、自分自身や自分の周りの人自体も大切にできるような心情を伸ばし、育みたいと考える。
- ・日常生活の中だけでもさまざまな美術にふれられることを理解してもらい、今後の生活にも自然と豊かさを見いだせるような心情を養いたい。
- ・生徒の中には、上手に描かなければいけないという思いが強かったり、自分は絵が下手だと思いついてしまったりする場合があります。大勢の人からみて上手に描いたり、つくったりすることではなく、自分なりの表現を見つけて楽しむことが大切だということを学んでもらいたい